

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和8年7月7日	決裁	令和	年	月	日
議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	担 当	担 当	文書取扱主任					

第 33 回 厚 生 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	令和8年6月2日（火曜日）	開会9時52分	閉会10時35分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	藤田、好川、荒木、福井、高橋、木下、堀、三上、 田村、山口	事務局	和田事務局長
欠席委員	なし		壽崎次長
説明員	別紙のとおり		林主事
議 件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 令和7年度の経営状況について		
	(2) 令和8年度一般会計補正予算について（ヒグマ用箱わな購入費）		
	(3) し尿収集及び運搬委託業務受託事業者元従業員によるし尿処理手数料の不正取得事案に関する調査報告及び再発防止について		
	(4) 令和8年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査支払等システム改修費）		
	(5) 「滝川市地域福祉計画・地域福祉実践計画」等の策定について		
	(6) 令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について		
	(7) 設計施工一括契約の締結について		
	2 第2回定例会以降の調査事項について		
	別紙調査項目のとおりとすることに決定した。		
	3 その他について		
	なし		
	4 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 厚生常任委員長 藤 田 哲 也 ㊞		

第33回 厚生常任委員会

R8.6.2 (火)10:00～

第一委員会室

開 会 9:52

委員長 おはようございます。それでは、定刻より少し早いですが、第33回厚生常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 委員動静についてでございますが、委員全員出席しております。議長に出席いただいております。寄谷議員、柴田議員、安樂議員、荻野議員が傍聴されております。報道は、株式会社北海道建設新聞社、株式会社北海道新聞社に取材を許可しております。

1 所管からの報告事項について

委員長 それでは、1、所管からの報告事項につきまして、◎印につきましては議案関連でございますので、ご留意願います。

では、市立病院、(1)について説明を求めます。

(1) 令和7年度の経営状況について

倉本課長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

福 井 2点質問させていただきます。

まず、1ページ目の右側、外来1日平均患者数推移の下の外來の年度別、3年度から7年度まで、大体20人ずつぐらい減ってきているかと思うのですが、これは人口減とか、そういったファクターの中で病院側が一生懸命頑張って何とかこの程度で済んでいるという評価なのかどうなのかという、自己評価を教えていただきたいのが1点目。

もう一点目が2ページ目の右側の下の吹き出し、年度末に6億円お借りになられたということですが、資金繰り支援企業債の借入れ10.8億円というのはいつ頃反映されるのか、この2点を教えてください。

金子次長 私のほうからご答弁申し上げますけれども、まず1点目でございます。外来患者の推移で20人程度ずつ減っているというご指摘でございますけれども、従前から申し上げているとおりコロナ禍で患者数というのは一定数減少はしましたけれども、そのコロナで減った患者数が戻ってこないという背景がまず1つあります。それで、今外来患者数あるいは入院患者数についても超長期のシミュレーションを立てていまして、外来患者数に絞って申し上げますと、入院患者は比較的やっぱり高齢者が多いのですが、外来患者は入院患者に比べて年齢層が比較的全年齢に及ぶという背景があります。それから申し上げますと、外来患者数は人口減に比較的割合しながら落ちていくと。逆に入院患者数は、高齢者の人口がいつとき増えていくということもありまして、この10年に関しては本当に微小なカーブで上昇を描きながら落ちていき、10年後は、入院患者数はそう大きく変わらないというような見立てをしております。外来患者数については、福井委員ご指摘のとおり20名程度落ちており、本来のシミュレーションで考えると、これが10名少々というようなシミュレーションですから、20名減るとなるとちょっと減り過ぎだなというところもありますけれども、おおむね描いたとおりのシミュレーションどおりで減っておりますし、そのシミ

ュレーションに沿った経営計画を立てているところでございます。

2点目についてでございます。今回6億円というのは、通常は市の会計から会計間運用という形でお借りをしているのですが、年度末はそのままたげないという形になっていまして、これは市中銀行からの借入れを行っています。これが一時借入金という形でございます。年度を越してからまた市の会計のほうからの借入れ、会計間の運用という形に戻っていくのですが、経営改善のための資金繰り支援の企業債は10億8,000万円を上限として、これは年度末まで資金がもたないということが見えておりますので、年度末までに借入れをする予定でございます。

福 井

1点だけ再質問で、2つ目の答弁の確認なのですが、これは先方に打診はもう既にしているのかどうなのかということ、向こうから了承をもらっているかどうか。金額が変動するので、難しいとは思いますが、そういった進捗状況なのでしょうか。

木地係長

進捗状況ですが、現状病院の資金繰りの状況を振興局を通して本庁のほうに提出しておりまして、正確な許可等の手続については9月頃から申請の受付が始まりますので、そこで許可を得次第、恐らく3月末頃の借入れになる予定になっております。

委 員 長
高 橋

ほかにございますか。

2点ほど入院の患者数のことでお聞きしたいのですが、4月から199床ということなのですが、2月のところが194名と、去年の1月は203名となっていて、200を超えているのってここだけなのですが、ベッドが足りなくなるかもしれないとか、お断りしたとか、そういうことはあったのかということをお聞きしたいのと、稼働率については多分199床にしてからかなり改善はされていると思うのですが、評価、今後どういうふうになっていくかという見通しを教えてください。

金子次長

まず、1点目にありました、許可病床数を199床にした4月以降にピークの百九十何床ですとか、一番多くて203床、こういった患者さんの需要に応えられるかという観点でお答えをしたいと思います。

許可病床数が199床になってベッド数が199床、もちろんこの運用には近づける形であるのですが、実は199床からオーバーをするという形は一定程度許容はされています。どの程度許容されているかと申し上げますと、5パーセントまではオーバーベッド、これは月の平均として認められているところでございますので、例えば1日の運用で220床、230床と突発的に超えたところに関しては市立病院としては受けていく考えであります。つまりこれまでの運用と変わらずにやれるというような判断もあって、このような199床という判断をしたところでもございます。

そして、稼働率の改善というところなのですが、稼働率はこれまで非常に低かったです。44床を休床している状況で申し上げますと、270床の中の170床ということはやっぱり70パーセント程度の稼働率であった。これは非常に低い稼働率だというふうに認識をしております。199床の運用をして、これまでと変わらない平均170床の入院患者を受け入れて、平均として85パーセント程度の稼働率は確保していきたいというふうに考えているところでございます。

委 員 長
堀

ほかに質疑ございますか。

1点伺いますが、入院患者数並びに外来の患者数ですが、この中で大き

く伸びたりとか下がったりとかってあると思うのですが、その診療科までは把握されていますか。分かっていたら教えてください。

金子次長 季節的な要因というのはかなり大きく、実稼働の病床は左されるところで、例えば冬に入ったら転倒して骨折される患者さんですとか、そういった方が非常に多くなるのです。それと、感染症も流行します。内科、整形外科あたりは、冬になって急伸びていくというようなこともございます。そして、滝川の場合は、やはり農業をされている方が多いものですから、どうしても農閑期に患者さんが集中しがちだと。今年のように雪解けも早くて農家さんの準備が少し早いと、その分病院のほうは閑散とするというような流れもございます。これが農繁期に入っていくと、しばらく閑散とした状況をくぐってまた秋になってから患者さんが増えてくる、年間大まかにこういうような波で動いているというようなところですよ。総合病院ですから、ほかの科も含めてそういう傾向というのはございます。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(1)につきましては報告済みといたします。ここで所管を入れ替えますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:10
再 開 10:11

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。
市民生活部、(2)について説明を求めます。

(2) 令和8年度一般会計補正予算について(ヒグマ用箱わな購入費)
(別紙資料に基づき説明する。)

米内係長 説明が終わりました。

委員長 質疑ございますか。

福 井 1点だけ確認です。
先ほど補助率10分の10の補助金の割当額が大きく下回ったと。これはどれぐらい下回ったのかだけ教えていただけたらと思います。

米内係長 こちらの鳥獣被害防止対策協議会につきましては、ヒグマの箱わなの購入のほか、例えばアライグマの箱わなの購入ですとか、そういった事業のほうの計画をしておりましてけれども、こちらは全体に対しまして48パーセントの配分となったところでございます。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(2)につきましては報告済みといたします。
続きまして、(3)について説明を求めます。

(3) し尿収集及び運搬委託業務受託事業者元従業員によるし尿処理手数料の不正取得事案に関する調査報告及び再発防止について
(別紙資料に基づき説明する。)

石原課長 説明が終わりました。

委員長 質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(3)につきましては報告済みといたします。
ここで所管を入れ替えますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:20

再 開 10:21

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。
福祉部、(4)について説明を求めます。

(4) 令和8年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査支払等システム改修費）

谷内係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(4)につきましては報告済みといたします。
次に、(5)について説明を求めます。

(5) 「滝川市地域福祉計画・地域福祉実践計画」等の策定について

林 課 長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

高 橋 今月にその会議が開かれるということなのですが、いつ頃開かれるのかということ、メンバーというのはどんな感じになっているのかということ、見学はできるのかというのを聞きたいです。

林 課 長 市民会議の開催につきましては、今月の12日を予定してございます。あと、傍聴は可能となっております。市民会議の委員ですけれども、医師会からの委員、それと保健所からの委員、市立病院の委員など、滝川市の保健、医療、福祉に関係される団体様から委員として出ているという状況でございます。ほかに質疑ございますか。

委員長 福 井 私から1点、こういう計画は、福祉部さんはただでさえ忙しいのにこういうのをするとさらに大変だなというふうに思っているのですけれども、7月から社協のほうから入庁される方がいらっしゃるということを聞いておりまして、人的補充になるのかなというのだけ確認させてもらっていいですか。

林 課 長 今回の計画は、社協さんと一緒に実践計画部分を策定していくということになっておりますけれども、人的補充という部分は現在はございません。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(5)につきましては報告済みといたします。
次に、(6)について説明を求めます。

(6) 令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について

大川係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 質疑がないようですので、(6)につきましては報告済みといたします。
ここで所管を入れ替えますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:30

再 開 10:31

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

健康こども未来部、(7)について説明を求めます。

(7) 設計施工一括契約の締結について

(別紙資料に基づき説明する。)

平沼副主幹
委 員 長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

質疑がないようですので、(7)につきましては報告済みといたします。

ここで所管及び報道各社は退室願います。

2 第2回定例会以降の調査事項について

委 員 長

次に、大きな2、第2回定例会以降の調査事項についてなのですが、別紙で確認いただきたいのですが、整理番号の12、市民活動についてが追加されます。理由としましては、滝川市の部設置条例中、市民生活部の事務分掌に市民活動に関するものの記載があるため追加したいとするものです。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

3 その他について

委 員 長

それでは次、3、その他につきまして委員の皆様から何かございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

事務局から何かございますか。

(なしの声あり)

4 次回委員会の日程について

委 員 長

それでは、次回委員会の日程につきまして、委員長、副委員長にご一任願います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

それでは、これをもって第33回厚生常任委員会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉 会 10:35

令和8年5月28日

滝川市議会議長 山 本 正 信 様

滝川市長 前 田 康 吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

令和8年4月22日付け滝議第14号にて通知のありました第33回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市民生活部長	横 山 浩 丈
市民生活部くらし支援課長	石 原 禎 康
市民生活部くらし支援課長補佐	種 田 佳 宏
市民生活部くらし支援課係長	米 内 健 二
市民生活部くらし支援課主事	高 松 秀 樹
福祉部長	鎌 田 清 孝
福祉部福祉課長	林 裕 樹
福祉部福祉課長補佐	神 馬 由 佳
福祉部福祉課係長	谷 内 謙 太
福祉部介護福祉課長	山 崎 仁 嗣
福祉部介護福祉課長補佐	三 並 義 紀
福祉部介護福祉課係長	大 川 聖 和
健康こども未来部長	景 由 隆 寛
健康こども未来部政策推進室長	高 橋 伸 明
健康こども未来部政策推進室副主幹	平 沼 昭 徳
市立病院事務部次長	金 子 和 史
市立病院事務部事務課長	倉 本 真 吾
市立病院事務部事務課長補佐	古 山 貴 昭
市立病院事務部事務課係長	澤 村 龍
市立病院事務部事務課係長	木 地 勇 貴
市立病院事務部事務課主査（専門員）	堀 勝 一
市立病院事務部医事課長	青 山 和 美
市立病院事務部医事課長補佐	矢 野 健 介
市立病院事務部医事課主査	井 内 雄 大

（総務部総務課法制文書係）

第33回 厚生常任委員会

日 時 令和8年6月2日(火)
午前10時00分～
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告事項について（◎印は議案関連）

《市立病院》

（1）令和7年度の経営状況について

（資料） 市立病院

《市民生活部》

◎（2）令和8年度一般会計補正予算について（ヒグマ用箱わな購入費）

（資料） くらし支援課

（3）し尿収集及び運搬委託業務受託事業者元従業員によるし尿処理
手数料の不正取得事案に関する調査報告及び再発防止について

（資料） くらし支援課

《福祉部》

◎（4）令和8年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査
支払等システム改修費）

（資料） 福祉課

（5）「滝川市地域福祉計画・地域福祉実践計画」等の策定について

（資料） 福祉課・介護福祉課

◎（6）令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について

（資料） 介護福祉課

《健康こども未来部》

◎（7）設計施工一括契約の締結について

（資料） 政策推進室

（終了後、所管及び報道各社の退室）

2 第2回定例会以降の調査事項について～別紙

3 その他について

4 次回委員会の日程について

○ 閉 会